



▶第1章 DX推進の目的

行政のDXとは

単なるデジタル化ではなく、行政運営そのものを見直して再設計(リデザイン)し、新たな価値を生み出すこと。

DX推進の必要性

- 人口の減少と世代間の不均衡増大※
- 税金や職員数の減少
- 激甚化する災害や大規模感染症への対応
- デジタル技術の進展と市民感覚の変化
- 多様化するニーズへの対応

⇒急速な社会の変化に適応するために、デジタル技術等を活用し課題解決・価値創造

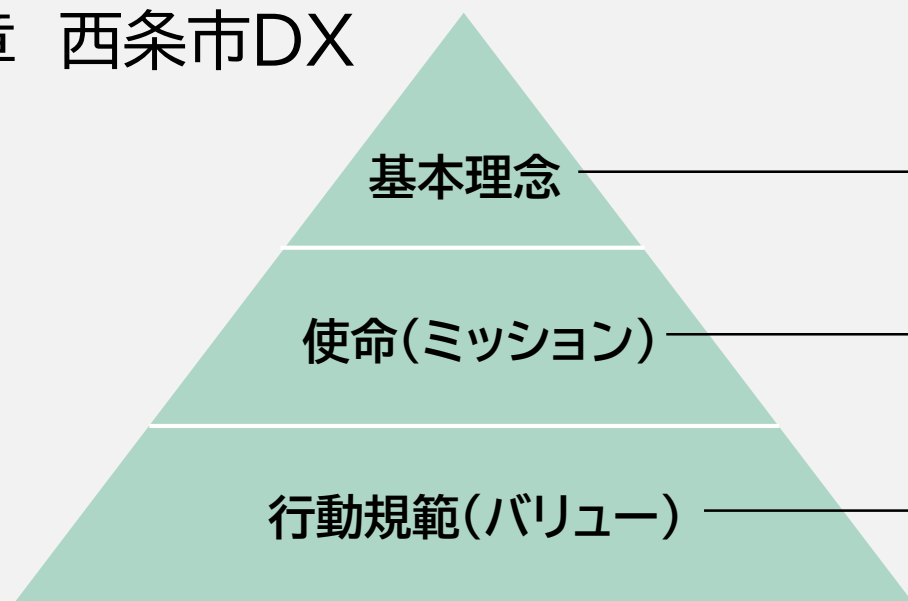
※2040年の本市の人口推計は86,525人(2020年比で約2割減少)、約1.3人の現役世代が1人の高齢世代を支える計算
(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より)

▶第2章 戦略の位置付け

持続可能なまちの実現に向け、バックカスティングの考え方で示す全庁的なDX推進の基本方針

- 位置付け:「第3期西条市総合計画」の個別計画、「市町村官民データ活用推進計画」
- 対象期間:令和7年度～令和11年度(5年間)

▶第3章 西条市DX



基本理念

「市民目線に立ち、行政の在り方を
再設計(リデザイン)する」
＝西条市の未来をつくる

使命(ミッション)

「人によりそうデジタル活用で
幸せな暮らしをつくる」

行動規範(バリュー)

- redesign リデザイン … 当たり前を疑い、あるべき姿にデザインしなおす。
- UX※ ユーザー目線で … 相手も自分も幸せになるよう「人」を中心に考える。
- have fun 楽しむ心 … ワクワクしながら協力して楽しい未来をつくる。

理想像(ビジョン)
7年後の西条市役所

時間や場所にとらわれない
「手続」や「働き方」がで
きる市役所

※ユーザーエクスペリエンスの略。製品やサービスを通じて利用者が得られる体験

基本施策の類型と方向性

市民サービスのDX

申請手続や窓口業務のスマート化をはじめ、子育て、教育、介護、福祉、健康、医療、環境などの分野で利便性の向上を目指します。

行政運営のDX

事務の流れを見直して必要なところにはデジタル活用で効率化し、デジタル人材の育成や庁内データの横断的活用も推進します。

地域社会のDX

誰もがデジタル技術の恩恵を受けられる状態を目指すほか、市民協働、防災、産業など地域社会全体のDX促進も図ります。



※施策の実施に当たっては効果や実現可能性などの観点から優先度を判断し具体化を図ります。

▶第4章 推進項目【1】 市民サービスのDX

- ① 申請手続きのスマート化【優先項目】
- ② 窓口業務の改革【優先項目】
- ③ 問い合わせ対応のスマート化
- ④ 手数料等決済の利便性向上
- ⑤ 入札・契約手続きの利便性向上
- ⑥ 公共施設予約の利便性向上
- ⑦ 医療と保健分野におけるデジタル活用
- ⑧ 戸籍証明書に関する手続きの利便性向上

▶第5章 推進項目【2】 行政運営のDX

- ① 庁内決裁・申請の効率化【優先項目】
- ② 文書管理の効率化【優先項目】
- ③ 出退勤管理・庶務事務管理の効率化【優先項目】
- ④ 職員間におけるコミュニケーションの効率化【優先項目】
- ⑤ 請求・支払い業務の効率化【優先項目】
- ⑥ 業務環境の効率化
- ⑦ 生成AIの活用推進
- ⑧ 庁内のデータ活用推進
- ⑨ データを活用した保健事業の推進
- ⑩ DX人材の育成
- ⑪ 情報セキュリティ・個人情報保護

▶第6章 推進項目【3】 地域社会のDX

- ① マイナンバーカード活用促進【優先項目】
- ② 市民の情報力向上への支援
- ③ 情報共有と協働の取組
- ④ 市民の防災力向上と的確な災害対応
- ⑤ 地域産業のスマート化の推進



▶第7章 推進体制

